

◆◆◆菜の花◆◆◆

風景

山村暮鳥

いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな かすかなるむぎぶえ いちめんのなののはな

いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな ひばりのおしゃべり いちめんのなののはな

いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな いちめんのなののはな いちめんのなののはな
 いちめんのなののはな やめるはひるのつき いちめんのなののはな。

●詩「風景」。

本来の表記は「いちめんのなののはな」の一行が横に連なります。

だから詩のかたちが菜の花畑のよう。

その菜の花の中から「かすかなむぎぶえ」がそっと聞こえる。

しばらくすると、ひばりのおしゃべりが聞こえてくる。

一面の真っ黄色な世界の中にかすかに聞こえるむぎぶえの音とひばりの鳴き声。

視覚的なイメージの中に聴覚的イメージをひっそりまぎれこませて美しさと感動を表現している、好きな詩の一つです。

●南風の畔も今、菜の花の黄色で彩られています。

ただ、少し気が早い気もします。

私の記憶、感覚では菜の花と言えば入学式。

ですがいつの間にか菜の花も、それから桜もどんどん卒業式に近づいているよう。

6年生の巣立ちの日まであと少し。

南風の菜の花たちは、子どもたちを静かに見守り、笑顔で巣立つすがたを見送る準備を整えているようです。